

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [尾道市立瀬戸田中学校] 担当教諭名 [伊藤 絵理奈] (2年1・2組 61名)
 相手国・地域 [パキスタン]
 海外学校名 [Mansehra Public School & College] 担当教諭名 [Muhammad Umar Gul Khan]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル	40
	部活動	アートマイル	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Growing Together: Pass the baton to equality and prosperity
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Our hope is to grow together from the past to the future, so that we can connect the baton by our actions, so that equality and hunger can be eliminated.



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自分事として問題を捉えることで、自分たちができることを考え、行動しようとする意欲が育った。 ・SDGsの問題の背景にはどのようなことがあるのか、それらがどのような問題を引き起こしているのかなど、具体的に調べることで、SDGsへの理解が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Zoomミーティングでは、英語でのコミュニケーションが難しく、相手校と円滑に議論を進めることができなかった。また、発表者以外の生徒が英語を使ってやりとりする機会が少なかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習を進めていく中で、相手国の現状はどのようになっているのかなどを気にかける姿が見られた。 ・Googleスライドで相手と自己紹介を行い、同じ中学生として親しみを持って活動できた。また、相手国のことを知ろうとする意欲が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画の案やメッセージの決定、スケジューリング等について、積極的に提案をすることができた。 ・生徒がより自分事として問題を捉えられるようにするためには、どのような手立てが必要かを考え、授業を組み立てていくことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月 9月	SDG2とSDG10について調べ学習をした。「課題」「原因」「自分たちにできること」について調べ、交流した。また、自己紹介を行った。	日本の問題だけでなく、海外の問題についても調べ、自分達にできることはないかという問題意識を持ち、主体的に学習に取り組むことができた。	総合14
共有 相手と意見交換	10月	お互いに調べたことや想いをスライドにまとめ、Zoomミーティングで発表した。また、そこから生まれた疑問点をもとにさらに課題について考えた。	相手の調べた内容に刺激を受け、考えが深まった。「私達が海から得ているものは何だろう」などの問いに対して多角的な視点で考え、意見を持つことができた。	総合8
融合 メッセージ作成	11月	「共有」で交流した双方の意見をもとに、日本側で考えた壁画案を相手側に提案した。また、壁画に込めるメッセージの案を交流した。	自分たちで議論してきた内容から、次世代に繋げよう、広い世界に向けて発信しようという想いを込めて、メッセージを考えることができた。	総合6
創造 壁画制作	12月	日本側で考えた案に相手側の下絵の案を取り入れる形で制作を行った。	メッセージを伝えるために、何を描き入れるかをじっくり考えることができた。日本側の案と相手側の案を合わせる際にも、メッセージを意識して取り組むことができた。	総合8 部活動6
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	できあがった壁画をもとに、活動を終えて分かったことや考え方が変わったことを振り返った。	長い時間をかけて活動してきたことが形になり、達成感を持つことができた。テーマについて理解を深め、相手側への感謝の気持ちを持った。	総合4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	日本での課題から視野を広げ、世界で起きている課題を理解し、解決しようとする姿が見られた。
主体的に考え行動する力	4	課題について調べる中で、課題の解決に向けて自分たちにできることは何かを考えたり、相手国について積極的に調べたりする姿が見られた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	SDGsの課題について、様々な視点から考え、他者の意見から新たな視点を持つことができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	Zoomでの発表や、スライド制作を通して、どのようにすれば相手に伝わるのかを考え、試行錯誤する姿が見られた。しかし、それらを担当していない生徒は、やや意識が低かった。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分たちや相手の考えを、どのようにすればメッセージに込められるのかを吟味したり、壁画にそのメッセージが表現されているかどうかを客観的に考察したりすることができた。